

県医科大学附病院に 「美容後遺症相談外来」開設

10月14日から形成外科医が患者の相談に



和歌山県立医科大学形成外科・朝村真教授

高齢化社会の到来とともに形成外科に、10月14日に「美容後遺症相談外来」が開設されました。

関心が急速に広がり、美容医療・美容治療への患者のニーズがますます高くなっています。しかし、その一方で美容後遺症に悩む患者も増えてきているのが現状です。

美容外科は形成外科の一つの分野であり、高度な形成外科の知識と技術が要求されます。和歌山県立医科大学附属病院（和歌山市紀三井寺）の

後遺症です。また、注射でなくても、シリコンバッグの破損などのトラブルもあります。そのほかにも、目の下のたるみやほろい線の改善のために異物を注入したことより、

「最近では、美容医療の進歩により、エイジングケア治療としてレーザー、ケミカルピーリング、

とする美容外科的治療や美容皮膚的治療においては、どれも患者自身の美的欲求を満たすもので、どうしても患者主導の治療になりがちです。だからこそ、治療法やそのリスクについては、複数の専門家への相談を含めて多方面からの情報収集に努めることが、患者自身にも求められています。

美容後遺症に悩む患者のために

各種注入剤など、メスを感感染症を発生しているケースもあります」と、新外来発足の背景について語る、形成外科・朝村真一教授。

新しく開設された「美容外科後遺症相談外来」について、担当する白川裕二医師は、「美容後遺症に対して、相談できずに悩んでいる患者さんのための窓口です。後遺症には、検査から摘出手術など、患者さんと話し合いながら対処しますので、ご安心ください」と話しています。

和歌山県立医科大学附属病院の「美容後遺症相談外来」の診療日時は、毎週水曜午後1時半～2時半。

※美容医療は健康保険適応外ですが、一部健康保険が適応となる場合がありますので医師に相談してください。ただし、美容外科後遺症外来は自費診療となります。

エイジングケアを目的

300和歌山県立医科大学附属病院・美容後遺症相談外来

2

447

300

和歌山県立医科大学附属病院・美容後遺症相談外来